

モンゴル国立健康科学大学へ学術交流に伴う光学顕微鏡の寄贈



左から：Sumberzul 副学長，Lkhagvasuren 学長
小路副学長，松山医学部長



小路副学長，田口教授による指導風景

10月25日，松山俊文医学部長，小路武彦副学長，田口尚教授，朝長万左男前医歯薬学総合研究科長，西村司郎医歯薬学総合研究科事務部長，松尾正則医歯薬学総合研究科総務課管理係長が，モンゴル国ウランバートルのモンゴル国立健康科学大学を訪問して，光学顕微鏡70台の贈呈式を行いました。

贈呈式では松山医学部長より「2008年6月に学術交流協定を締結した折，学生実習に供する顕微鏡不足の話があり，今ここに実現できたことは日本政府が新成長戦略で重点事項としているライフイノベーションの担い手の要請と東アジアのコラボレーションの趣旨にあったもので，これから必要なのは新しく力を持った国との交流である。今後も永く続く友好と学術交流を発展させるコラボレーションを望んでいる。」と挨拶が述べられました。

これに対してモンゴル国立健康科学大学の Lkhagvasuren 学長からキャンパス内に顕微鏡実習室（組織解剖学・病理学）を設置した旨，また長崎大学からの医学教育の貴重な支援に応えたいと感謝の意が表明されました。その後，寄贈した顕微鏡の学生実習の見学を兼ねて顕微鏡の実習指導を行いました。

（平成22年11月 医歯薬学総合研究科学術協力課）